

第4章 杉並区の商店街の現状

1 商店街の実態について

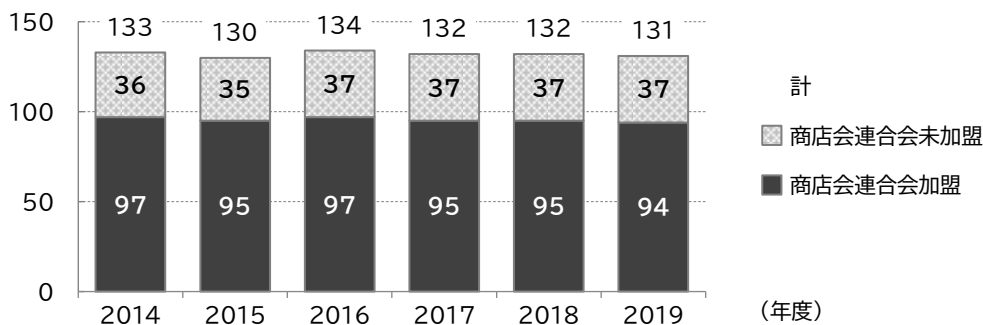
(1) 商店会数

○商店会数は横ばいで推移、西荻窪地域・高円寺地域が最も多い

商店会数は130前後で推移しており、令和元年度（2019年度）時点で131となっている。このうち、商店街振興組合法に基づく「商店街振興組合」は17、中小企業等協同組合法に基づく「事業協同組合」は1、非法人である「任意団体」は113である。また、131の商店会のうち、杉並区商店会連合会（以下「商連」）に加盟しているのは94である。

令和元年度東京都商店街実態調査によると、都内にある全ての商店会数は2,447で、このうち23区全体では1,882となっている。杉並区の商店会数は大田区の142に続き、都内で2番目に多い。地域別にみると、「西荻窪地域」と「高円寺地域」が27と最も多くなっており、次いで「荻窪地域」が25となっている。

■図表 3-1 商店会数の推移



注) 各年3月末日の数値。

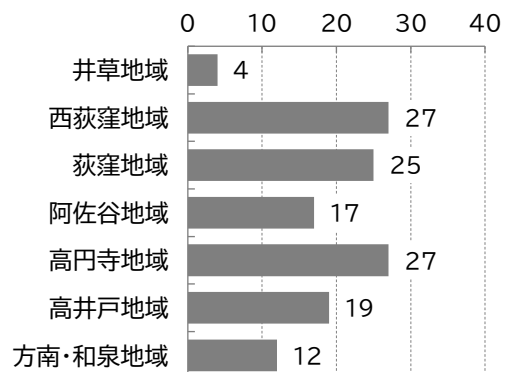
出典「杉並区産業振興センター資料」

■図表 3-2 都内商店会数（上位5位抜粋）

	市区町村	商店会数
1位	大田区	142
2位	杉並区	131
3位	世田谷区	130
4位	台東区	108
5位	新宿区	103

出典「令和元年度 東京都商店街実態調査」

■図表 3-3 地域別商店会数



出典「杉並区産業振興センター資料（令和元年度）」

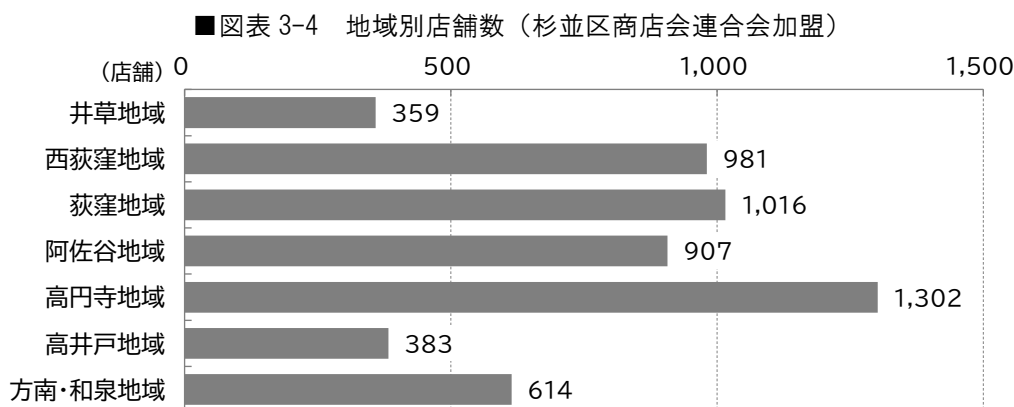
注) 本章では、p5の地域区分に基づき地域別集計を行った。

(2) 店舗数

○店舗数は高円寺地域が最多で地域により偏りがある

商連に加盟している商店会の店舗数は、令和元年度時点で「高円寺地域」が1,302店舗と最も多く、次いで「荻窪地域」が1,016店舗、「西荻窪地域」が981店舗、「阿佐谷地域」が907店舗となっており、中央線沿線周辺が多くなっている。

店舗が最も多い「高円寺地域」と最も少ない「井草地域」では、3.5倍以上の差があり、地域により偏りがある。

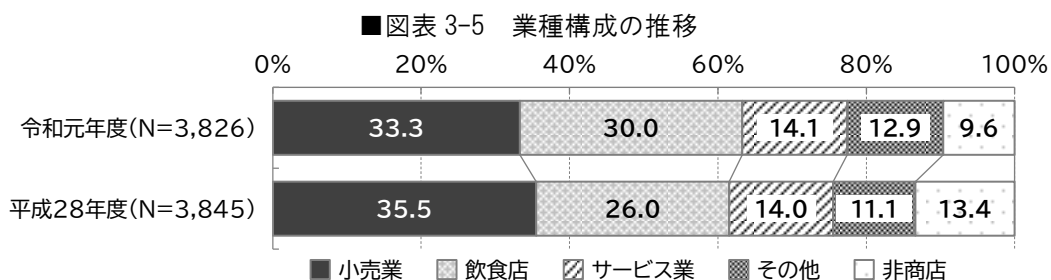


出典「杉並区産業振興センター資料（令和元年度）」

(3) 業種構成

○業種構成は小売業と飲食店で合わせて6割以上を占めている

商店会に加入している店舗の業種構成をみると、「小売業」が33.3%と最も高く、次いで「飲食店」が30.0%となっており、合わせて全体の6割以上を占めている。平成28年度から令和元年度にかけて、「飲食店」が4.0ポイント高くなった一方で、「非商店」が3.8ポイント低くなっている。



業種	店舗の種類例
小売業	各種商品、飲食料品、織物・衣類・身の回り品、機械器具、その他、無店舗小売業等
飲食店	飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業等
サービス業	洗濯・理容・美容・浴場業、その他の生活関連サービス業、娯楽業等
その他	病院、銀行、ホテル、学習塾、不動産業、レンタル業、自動車整備業、福祉・介護サービス業等
非商店	製造業（印刷業含む）、事務所等

出典「平成28年度・令和元年度 東京都商店街実態調査」

(4) 商店街の訪日外国人の状況

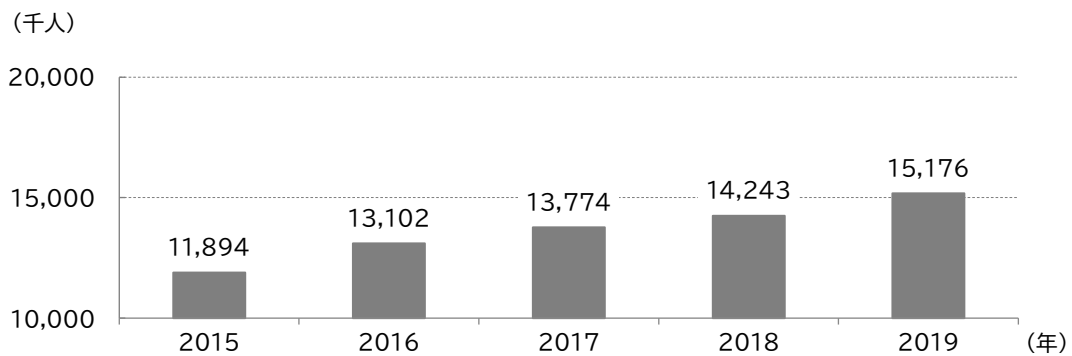
○約4割の商店会が外国人客を受け入れるための工夫を実施

東京都を訪れる外国人旅行者数は、平成27年(2015年)の11,894千人から年々増加しており、令和元年(2019年)には15,176千人と、5年間で3,200千人以上増えている。

外国人客を受け入れるための工夫を「取り入れている」店舗は、杉並区全体では24.5%、「今後取り入れる予定」が15.2%となっており、合わせて約4割が外国人客を受け入れることに前向きである。

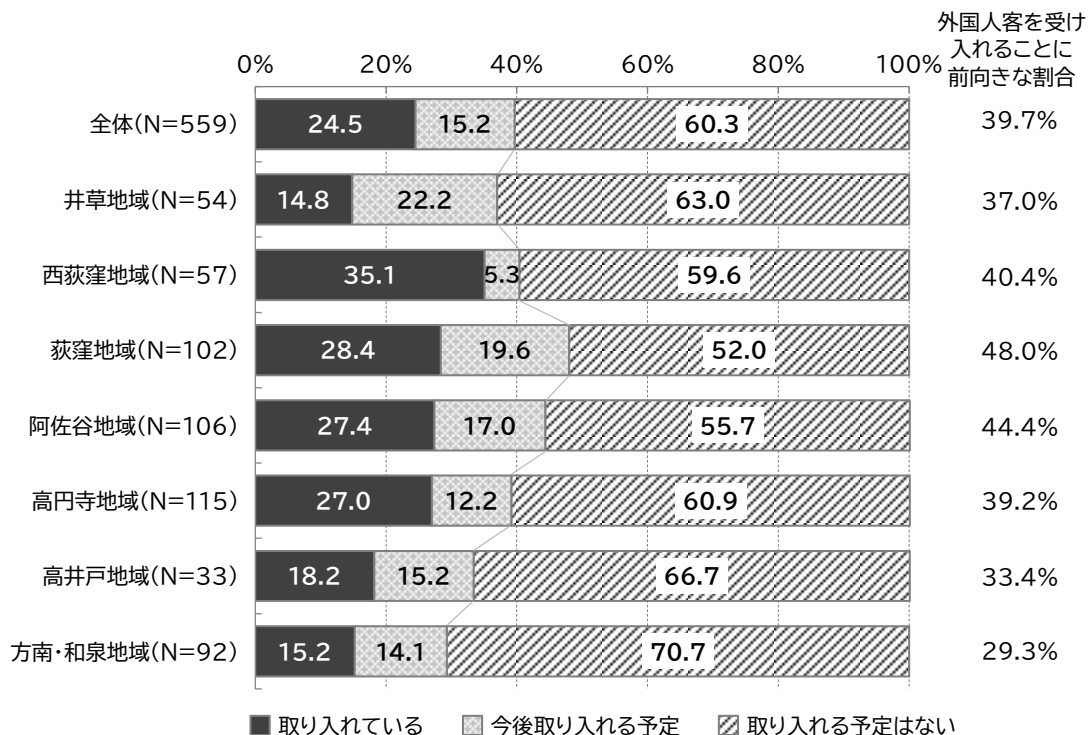
地域別に外国人客を受け入れることに前向きな割合(工夫を「取り入れている」と「今後取り入れる予定」の合計)をみると、「荻窪地域」が48.0%と最も高く、次いで「阿佐谷地域」(44.4%)、「西荻窪地域」(40.4%)となっており、中央線沿線周辺の割合が高くなっている。

■図表 3-6 訪都外国人旅行者数の推移



出典「東京都観光客数等実態調査」

■図表 3-7 外国人客を受け入れるための工夫の実施状況 (SA)



出典：「令和元年度 街の「にぎわい」に関するアンケート調査(杉並区)」

2 商店街の特徴

(1) 井草地域

西武新宿線下井草駅から上井草駅まで広がる井草地域には4商店会があり、店舗数は359と最も少ない。1商店会あたりの平均店舗数は約90店舗と他地域と比べて規模が大きい。令和元年度における店舗の業種構成は「小売業」(32.5%)が最も多く、次いで、「飲食店」(21.6%)、「非商店」(15.7%)、「その他」(15.4%)となっている。平成25年度と比べると、「小売業」の割合は6.7ポイント高くなっている。

駅別乗車人員は、井草地域に位置する3駅の合計人数が12,000千人前後で推移しており、平成30年度(2018年度)は12,266千人となっている。

住所(町名)	井草、上井草、下井草																																			
駅	西武新宿線下井草駅・井荻駅・上井草駅																																			
商店会数	4																																			
店舗数	359(商連加盟)																																			
業種構成	<p>■ 図表 3-8 業種構成</p> <table border="1"> <caption>業種構成 (単位: %)</caption> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>平成25年度(N=4)</th> <th>令和元年度(N=4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小売業</td> <td>25.8</td> <td>32.5</td> </tr> <tr> <td>飲食店</td> <td>21.3</td> <td>21.6</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>16.7</td> <td>14.8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>16.7</td> <td>15.4</td> </tr> <tr> <td>非商店</td> <td>19.4</td> <td>15.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典「平成25年度・令和元年度 東京都商店街実態調査」</p>	業種	平成25年度(N=4)	令和元年度(N=4)	小売業	25.8	32.5	飲食店	21.3	21.6	サービス業	16.7	14.8	その他	16.7	15.4	非商店	19.4	15.7																	
業種	平成25年度(N=4)	令和元年度(N=4)																																		
小売業	25.8	32.5																																		
飲食店	21.3	21.6																																		
サービス業	16.7	14.8																																		
その他	16.7	15.4																																		
非商店	19.4	15.7																																		
駅別乗車人員	<p>■ 図表 3-9 駅別乗車人員(年間)</p> <table border="1"> <caption>駅別乗車人員(年間) (単位: 千人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>西武新宿線下井草駅</th> <th>西武新宿線井荻駅</th> <th>西武新宿線上井草駅</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008</td> <td>4,376</td> <td>3,773</td> <td>3,804</td> <td>11,953</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>4,301</td> <td>3,604</td> <td>3,629</td> <td>11,534</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>4,278</td> <td>3,575</td> <td>3,573</td> <td>11,426</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>4,343</td> <td>3,610</td> <td>3,663</td> <td>11,616</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>4,499</td> <td>3,699</td> <td>3,796</td> <td>11,994</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>4,620</td> <td>3,731</td> <td>3,915</td> <td>12,266</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典「東京都統計年鑑」</p>	年度	西武新宿線下井草駅	西武新宿線井荻駅	西武新宿線上井草駅	計	2008	4,376	3,773	3,804	11,953	2010	4,301	3,604	3,629	11,534	2012	4,278	3,575	3,573	11,426	2014	4,343	3,610	3,663	11,616	2016	4,499	3,699	3,796	11,994	2018	4,620	3,731	3,915	12,266
年度	西武新宿線下井草駅	西武新宿線井荻駅	西武新宿線上井草駅	計																																
2008	4,376	3,773	3,804	11,953																																
2010	4,301	3,604	3,629	11,534																																
2012	4,278	3,575	3,573	11,426																																
2014	4,343	3,610	3,663	11,616																																
2016	4,499	3,699	3,796	11,994																																
2018	4,620	3,731	3,915	12,266																																

(2) 西荻窪地域

JR 中央線西荻窪駅を中心に南北に広がる西荻窪地域は、商店会が 27 と最も多く、店舗数は 981 と 3 番目に多い。令和元年度における店舗の業種構成は、「小売業」(32.6%)と「飲食店」(32.4%)が他の業種と比べて多く、ともに 3 割を超えている。平成 25 年度と比べると「飲食店」の割合は 9.7 ポイント高く、「非商店」の割合は 11.5 ポイント低くなっている。

駅別乗車人員は、平成 22 年度(2010 年度)の 14,736 千人から増加しており、平成 30 年度(2018 年度)は 16,709 千人となっている。

住所(町名)	上荻、松庵、善福寺、西荻北、西荻南																		
駅	JR 中央線西荻窪駅																		
商店会数	27 (うち商連未加盟 4)																		
店舗数	981 (商連加盟)																		
業種構成	<p>■ 図表 3-10 業種構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>令和元年度(N=14)</th> <th>平成25年度(N=16)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小売業</td> <td>32.6</td> <td>35.7</td> </tr> <tr> <td>飲食店</td> <td>32.4</td> <td>22.7</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>13.6</td> <td>10.6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>13.3</td> <td>11.4</td> </tr> <tr> <td>非商店</td> <td>8.1</td> <td>19.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典「平成 25 年度・令和元年度 東京都商店街実態調査」</p>	業種	令和元年度(N=14)	平成25年度(N=16)	小売業	32.6	35.7	飲食店	32.4	22.7	サービス業	13.6	10.6	その他	13.3	11.4	非商店	8.1	19.6
業種	令和元年度(N=14)	平成25年度(N=16)																	
小売業	32.6	35.7																	
飲食店	32.4	22.7																	
サービス業	13.6	10.6																	
その他	13.3	11.4																	
非商店	8.1	19.6																	
駅別乗車人員	<p>■ 図表 3-11 駅別乗車人員(年間)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>乗車人員(千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008</td> <td>15,087</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>14,736</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>15,002</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>15,588</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>16,234</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>16,709</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典「東京都統計年鑑」</p>	年度	乗車人員(千人)	2008	15,087	2010	14,736	2012	15,002	2014	15,588	2016	16,234	2018	16,709				
年度	乗車人員(千人)																		
2008	15,087																		
2010	14,736																		
2012	15,002																		
2014	15,588																		
2016	16,234																		
2018	16,709																		

(3) 荻窪地域

JR 中央線荻窪駅と東京メトロ丸ノ内線荻窪駅が位置する荻窪地域は、区を代表する商業地及び交通結節点である。25 の商店会があり、店舗数は 1,016 と高円寺地域に次いで 2 番目に多い。令和元年度における店舗の業種構成は「小売業」(34.2%) が最も多く、次いで、「飲食店」(22.2%)、「サービス業」(15.7%) となっている。平成 25 年度と比べると「小売業」の割合が 5.0 ポイント高くなっている。

駅別乗車人員は、荻窪地域に位置する 2 駅の合計人数が平成 22 年度 (2010 年度) の 43,914 千人から 5,000 千人以上増加しており、平成 30 年度 (2018 年度) は 49,891 千人となっている。

住所(町名)	天沼、今川、荻窪、清水、本天沼、南荻窪、桃井																												
駅	JR 中央線荻窪駅、東京メトロ丸ノ内線荻窪駅																												
商店会数	25 (うち商連未加盟 5)																												
店舗数	1,016 (商連加盟)																												
業種構成	<p>■ 図表 3-12 業種構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>平成25年度(N=18)</th> <th>令和元年度(N=14)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小売業</td> <td>29.2</td> <td>34.2</td> </tr> <tr> <td>飲食店</td> <td>22.3</td> <td>22.2</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>15.6</td> <td>15.7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17.1</td> <td>13.7</td> </tr> <tr> <td>非商店</td> <td>15.8</td> <td>14.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典「平成 25 年度・令和元年度 東京都商店街実態調査」</p>	業種	平成25年度(N=18)	令和元年度(N=14)	小売業	29.2	34.2	飲食店	22.3	22.2	サービス業	15.6	15.7	その他	17.1	13.7	非商店	15.8	14.1										
業種	平成25年度(N=18)	令和元年度(N=14)																											
小売業	29.2	34.2																											
飲食店	22.3	22.2																											
サービス業	15.6	15.7																											
その他	17.1	13.7																											
非商店	15.8	14.1																											
駅別乗車人員	<p>■ 図表 3-13 駅別乗車人員 (年間)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>東京メトロ丸ノ内線荻窪駅 (千人)</th> <th>JR中央線荻窪駅 (千人)</th> <th>計 (千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008</td> <td>12,843</td> <td>31,696</td> <td>44,539</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>12,855</td> <td>31,059</td> <td>43,914</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>13,443</td> <td>31,086</td> <td>44,529</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>14,556</td> <td>31,368</td> <td>45,924</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>15,598</td> <td>32,225</td> <td>47,823</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>16,780</td> <td>33,111</td> <td>49,891</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典「東京都統計年鑑」</p>	年度	東京メトロ丸ノ内線荻窪駅 (千人)	JR中央線荻窪駅 (千人)	計 (千人)	2008	12,843	31,696	44,539	2010	12,855	31,059	43,914	2012	13,443	31,086	44,529	2014	14,556	31,368	45,924	2016	15,598	32,225	47,823	2018	16,780	33,111	49,891
年度	東京メトロ丸ノ内線荻窪駅 (千人)	JR中央線荻窪駅 (千人)	計 (千人)																										
2008	12,843	31,696	44,539																										
2010	12,855	31,059	43,914																										
2012	13,443	31,086	44,529																										
2014	14,556	31,368	45,924																										
2016	15,598	32,225	47,823																										
2018	16,780	33,111	49,891																										

(4) 阿佐谷地域

JR 中央線阿佐ヶ谷駅と東京メトロ丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅が位置する阿佐谷地域は、17 の商店会があり、店舗数は 907 となっている。令和元年度における店舗の業種構成は、「小売業」(40.7%) と「飲食店」(39.0%) が他の業種と比べて多いのが特徴で、合わせて約 8 割を占める。平成 25 年度と比べると「小売業」の割合は 12.2 ポイント、「飲食店」の割合は 6.4 ポイント高くなっており、「非商店」の割合は 19.9 ポイント低くなっている。

駅別乗車人員は、阿佐谷地域に位置する 2 駅の合計人数が平成 26 年度 (2014 年度) までは 20,000 千人前後で推移し、平成 28 年度 (2016 年度) 以降は 21,000 千人台となっている。

住所(町名)	阿佐谷北、阿佐谷南、成田西、成田東																												
駅	JR 中央線阿佐ヶ谷駅、東京メトロ丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅																												
商店会数	17 (うち商連未加盟 3)																												
店舗数	907 (商連加盟)																												
業種構成	<p style="text-align: center;">■ 図表 3-14 業種構成</p> <table border="1"> <caption>業種構成 (単位:%)</caption> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>平成25年度(N=13)</th> <th>令和元年度(N=11)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小売業</td> <td>28.5</td> <td>40.7</td> </tr> <tr> <td>飲食店</td> <td>32.6</td> <td>39.0</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>11.8</td> <td>13.8</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5.3</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>非商店</td> <td>21.8</td> <td>1.9</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">出典「平成 25 年度・令和元年度 東京都商店街実態調査」</p>	業種	平成25年度(N=13)	令和元年度(N=11)	小売業	28.5	40.7	飲食店	32.6	39.0	サービス業	11.8	13.8	その他	5.3	4.6	非商店	21.8	1.9										
業種	平成25年度(N=13)	令和元年度(N=11)																											
小売業	28.5	40.7																											
飲食店	32.6	39.0																											
サービス業	11.8	13.8																											
その他	5.3	4.6																											
非商店	21.8	1.9																											
駅別乗車人員	<p style="text-align: center;">■ 図表 3-15 駅別乗車人員 (年間)</p> <table border="1"> <caption>駅別乗車人員 (単位:千人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>JR中央線阿佐ヶ谷駅</th> <th>東京メトロ丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008</td> <td>16,315</td> <td>3,936</td> <td>20,251</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>15,987</td> <td>3,992</td> <td>19,979</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>15,891</td> <td>4,104</td> <td>19,995</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>16,097</td> <td>4,409</td> <td>20,506</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>16,303</td> <td>4,780</td> <td>21,083</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>16,822</td> <td>5,142</td> <td>21,964</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">出典「東京都統計年鑑」</p>	年度	JR中央線阿佐ヶ谷駅	東京メトロ丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅	計	2008	16,315	3,936	20,251	2010	15,987	3,992	19,979	2012	15,891	4,104	19,995	2014	16,097	4,409	20,506	2016	16,303	4,780	21,083	2018	16,822	5,142	21,964
年度	JR中央線阿佐ヶ谷駅	東京メトロ丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅	計																										
2008	16,315	3,936	20,251																										
2010	15,987	3,992	19,979																										
2012	15,891	4,104	19,995																										
2014	16,097	4,409	20,506																										
2016	16,303	4,780	21,083																										
2018	16,822	5,142	21,964																										

(5) 高円寺地域

JR 中央線高円寺駅と東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅、新高円寺駅が位置し、環状7号線と青梅街道が縦横に走る高円寺地域は、西荻窪地域と同様に商店会が27と最も多く、さらに店舗数も1,302と最も多い。令和元年度における店舗の業種構成は「飲食店」が45.2%と多いのが特徴で、次いで、「小売業」(28.6%)となっている。平成25年度と比べると「飲食店」の割合は10.5ポイント高くなっている。

駅別乗車人員は、高円寺地域に位置する3駅の合計人数が平成22年度(2010年度)の29,508千人から3,000千人以上増加しており、平成30年度(2018年度)は32,581千人となっている。

住所(町名)	梅里、高円寺北、高円寺南、堀ノ内、松ノ木、和田																																			
駅	JR 中央線高円寺駅、東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅・新高円寺駅																																			
商店会数	27 (うち商連未加盟9)																																			
店舗数	1,302 (商連加盟)																																			
業種構成	<p>■ 図表 3-16 業種構成</p> <table border="1"> <caption>業種構成 (図表 3-16)</caption> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>平成25年度(N=21)</th> <th>令和元年度(N=17)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小売業</td> <td>33.4%</td> <td>28.6%</td> </tr> <tr> <td>飲食店</td> <td>34.7%</td> <td>45.2%</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>14.0%</td> <td>8.8%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7.8%</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>非商店</td> <td>10.0%</td> <td>10.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典「平成25年度・令和元年度 東京都商店街実態調査」</p>	業種	平成25年度(N=21)	令和元年度(N=17)	小売業	33.4%	28.6%	飲食店	34.7%	45.2%	サービス業	14.0%	8.8%	その他	7.8%	6.9%	非商店	10.0%	10.5%																	
業種	平成25年度(N=21)	令和元年度(N=17)																																		
小売業	33.4%	28.6%																																		
飲食店	34.7%	45.2%																																		
サービス業	14.0%	8.8%																																		
その他	7.8%	6.9%																																		
非商店	10.0%	10.5%																																		
駅別乗車人員	<p>■ 図表 3-17 駅別乗車人員 (年間)</p> <table border="1"> <caption>駅別乗車人員 (図表 3-17)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計 (千人)</th> <th>JR中央線高円寺駅 (千人)</th> <th>東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅 (千人)</th> <th>東京メトロ丸ノ内線新高円寺駅 (千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008</td> <td>29,920</td> <td>18,014</td> <td>5,769</td> <td>6,137</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>29,508</td> <td>17,752</td> <td>5,691</td> <td>6,065</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>29,661</td> <td>17,645</td> <td>5,880</td> <td>6,136</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>30,441</td> <td>17,885</td> <td>6,170</td> <td>6,386</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>31,620</td> <td>18,374</td> <td>6,512</td> <td>6,734</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>32,581</td> <td>18,893</td> <td>6,699</td> <td>6,989</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典「東京都統計年鑑」</p>	年度	計 (千人)	JR中央線高円寺駅 (千人)	東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅 (千人)	東京メトロ丸ノ内線新高円寺駅 (千人)	2008	29,920	18,014	5,769	6,137	2010	29,508	17,752	5,691	6,065	2012	29,661	17,645	5,880	6,136	2014	30,441	17,885	6,170	6,386	2016	31,620	18,374	6,512	6,734	2018	32,581	18,893	6,699	6,989
年度	計 (千人)	JR中央線高円寺駅 (千人)	東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅 (千人)	東京メトロ丸ノ内線新高円寺駅 (千人)																																
2008	29,920	18,014	5,769	6,137																																
2010	29,508	17,752	5,691	6,065																																
2012	29,661	17,645	5,880	6,136																																
2014	30,441	17,885	6,170	6,386																																
2016	31,620	18,374	6,512	6,734																																
2018	32,581	18,893	6,699	6,989																																

(6) 高井戸地域

京王井の頭線が横切る高井戸地域は、19の商店会があり、店舗数は383となっている。5つの駅が位置しているが、7地域の中で商店会数は4番目、店舗数は6番目と少ない。1商店会あたりの平均店舗数は約20店舗であり、小さな規模の商店会が多い。令和元年度における店舗の業種構成は「小売業」(32.4%)が最も多く、次いで、「飲食店」(24.5%)となっている。平成25年度と比べると「その他」の割合が8.0ポイント高くなっている。

駅別乗車人員は、高井戸地域に位置する5駅の合計人数が平成22年度(2010年度)の29,181千人から2,000千人以上増加しており、平成30年度(2018年度)は31,559千人となっている。

住所(町名)	上高井戸、久我山、下高井戸、高井戸西、高井戸東、浜田山、宮前																																																	
駅	京王線八幡山駅、京王井の頭線浜田山駅・高井戸駅・富士見ヶ丘駅・久我山駅																																																	
商店会数	19(うち商連未加盟11)																																																	
店舗数	383(商連加盟)																																																	
業種構成	<p style="text-align: center;">■ 図表 3-18 業種構成</p> <table border="1"> <caption>業種構成 (業種別割合)</caption> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>令和元年度(N=11)</th> <th>平成25年度(N=10)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小売業</td> <td>32.4%</td> <td>35.6%</td> </tr> <tr> <td>飲食店</td> <td>24.5%</td> <td>25.2%</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>15.3%</td> <td>17.7%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>18.2%</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>非商店</td> <td>9.6%</td> <td>11.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">出典「平成25年度・令和元年度 東京都商店街実態調査」</p>	業種	令和元年度(N=11)	平成25年度(N=10)	小売業	32.4%	35.6%	飲食店	24.5%	25.2%	サービス業	15.3%	17.7%	その他	18.2%	10.2%	非商店	9.6%	11.3%																															
業種	令和元年度(N=11)	平成25年度(N=10)																																																
小売業	32.4%	35.6%																																																
飲食店	24.5%	25.2%																																																
サービス業	15.3%	17.7%																																																
その他	18.2%	10.2%																																																
非商店	9.6%	11.3%																																																
駅別乗車人員	<p style="text-align: center;">■ 図表 3-19 駅別乗車人員(年間)</p> <table border="1"> <caption>駅別乗車人員(年間) (千人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>計</th> <th>京王線八幡山駅</th> <th>京王井の頭線久我山駅</th> <th>京王井の頭線富士見ヶ丘駅</th> <th>京王井の頭線高井戸駅</th> <th>京王井の頭線浜田山駅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008</td> <td>29,480</td> <td>7,286</td> <td>6,815</td> <td>2,533</td> <td>7,518</td> <td>5,328</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>29,181</td> <td>7,272</td> <td>6,710</td> <td>2,440</td> <td>7,643</td> <td>5,116</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>29,451</td> <td>7,237</td> <td>6,832</td> <td>2,452</td> <td>7,804</td> <td>5,126</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>30,147</td> <td>7,421</td> <td>6,989</td> <td>2,535</td> <td>7,914</td> <td>5,288</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>30,996</td> <td>7,752</td> <td>7,224</td> <td>2,512</td> <td>8,053</td> <td>5,455</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>31,559</td> <td>7,998</td> <td>7,412</td> <td>2,538</td> <td>8,068</td> <td>5,543</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">出典「東京都統計年鑑」</p>	年度	計	京王線八幡山駅	京王井の頭線久我山駅	京王井の頭線富士見ヶ丘駅	京王井の頭線高井戸駅	京王井の頭線浜田山駅	2008	29,480	7,286	6,815	2,533	7,518	5,328	2010	29,181	7,272	6,710	2,440	7,643	5,116	2012	29,451	7,237	6,832	2,452	7,804	5,126	2014	30,147	7,421	6,989	2,535	7,914	5,288	2016	30,996	7,752	7,224	2,512	8,053	5,455	2018	31,559	7,998	7,412	2,538	8,068	5,543
年度	計	京王線八幡山駅	京王井の頭線久我山駅	京王井の頭線富士見ヶ丘駅	京王井の頭線高井戸駅	京王井の頭線浜田山駅																																												
2008	29,480	7,286	6,815	2,533	7,518	5,328																																												
2010	29,181	7,272	6,710	2,440	7,643	5,116																																												
2012	29,451	7,237	6,832	2,452	7,804	5,126																																												
2014	30,147	7,421	6,989	2,535	7,914	5,288																																												
2016	30,996	7,752	7,224	2,512	8,053	5,455																																												
2018	31,559	7,998	7,412	2,538	8,068	5,543																																												

(7) 方南・和泉地域

東京メトロ丸ノ内線方南町駅と京王井の頭線永福町駅、西永福駅が位置する方南・和泉地域は、12の商店会があり、店舗数は614となっている。令和元年度における店舗の業種構成は「小売業」(27.0%)が最も多く、次いで、「その他」(24.0%)、「飲食店」(21.2%)となっている。他の地域と比べ、「サービス業」「その他」「非商店」の割合が比較的高いのが特徴となっている。平成25年度と比べると「その他」の割合は9.6ポイント高く、「非商店」の割合は6.8ポイント低くなっている。

駅別乗車人員は、方南・和泉地域に位置する3駅の合計人数が平成22年度(2010年度)の14,504千人から増加しており、平成30年度(2018年度)は16,492千人となっている。

住所(町名)	和泉、永福、大宮、方南																																			
駅	東京メトロ丸ノ内線方南町駅、京王井の頭線永福町駅・西永福駅																																			
商店会数	12(うち商連未加盟5)																																			
店舗数	614(商連加盟)																																			
業種構成	<p>■図表 3-20 業種構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>令和元年度(N=8)</th> <th>平成25年度(N=8)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小売業</td> <td>27.0</td> <td>28.0</td> </tr> <tr> <td>飲食店</td> <td>21.2</td> <td>20.6</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>16.6</td> <td>18.9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>24.0</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <td>非商店</td> <td>11.2</td> <td>18.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典「平成25年度・令和元年度 東京都商店街実態調査」</p>	業種	令和元年度(N=8)	平成25年度(N=8)	小売業	27.0	28.0	飲食店	21.2	20.6	サービス業	16.6	18.9	その他	24.0	14.4	非商店	11.2	18.0																	
業種	令和元年度(N=8)	平成25年度(N=8)																																		
小売業	27.0	28.0																																		
飲食店	21.2	20.6																																		
サービス業	16.6	18.9																																		
その他	24.0	14.4																																		
非商店	11.2	18.0																																		
駅別乗車人員	<p>■図表 3-21 駅別乗車人員(年間)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>東京メトロ丸ノ内線方南町駅</th> <th>京王井の頭線永福町駅</th> <th>京王井の頭線西永福駅</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008</td> <td>5,725</td> <td>5,381</td> <td>3,444</td> <td>14,550</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>5,797</td> <td>5,282</td> <td>3,425</td> <td>14,504</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>5,912</td> <td>5,493</td> <td>3,335</td> <td>14,740</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>6,229</td> <td>5,627</td> <td>3,307</td> <td>15,163</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>6,653</td> <td>5,863</td> <td>3,338</td> <td>15,854</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>6,952</td> <td>6,083</td> <td>3,457</td> <td>16,492</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典「東京都統計年鑑」</p>	年度	東京メトロ丸ノ内線方南町駅	京王井の頭線永福町駅	京王井の頭線西永福駅	計	2008	5,725	5,381	3,444	14,550	2010	5,797	5,282	3,425	14,504	2012	5,912	5,493	3,335	14,740	2014	6,229	5,627	3,307	15,163	2016	6,653	5,863	3,338	15,854	2018	6,952	6,083	3,457	16,492
年度	東京メトロ丸ノ内線方南町駅	京王井の頭線永福町駅	京王井の頭線西永福駅	計																																
2008	5,725	5,381	3,444	14,550																																
2010	5,797	5,282	3,425	14,504																																
2012	5,912	5,493	3,335	14,740																																
2014	6,229	5,627	3,307	15,163																																
2016	6,653	5,863	3,338	15,854																																
2018	6,952	6,083	3,457	16,492																																

3 商店街が抱えている問題点

(1) 商店街が抱えている主な問題点

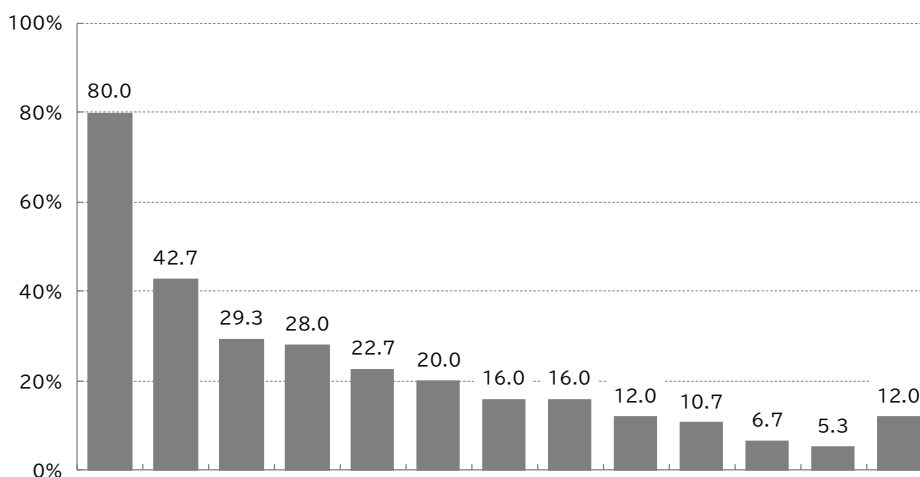
○8割の商店街が後継者不足の問題を抱えている

商店街が抱えている主な問題点は、「後継者が不足している」が80.0%と最も高く、次いで「商店街に集客の核となる店舗がない、あるいは弱い」が42.7%となっている。

「後継者が不足している」の割合は、東京都全体（68.4%）や23区全体（69.6%）と比べて高くなっている。

地域別にみると、「井草地域」と「高井戸地域」で「後継者が不足している」の割合が100.0%となっている。

■図表 3-22 商店街が抱えている主な問題点 (MA)



地域別の回答者数に占める割合 (%)	回答者数 (N)	後継者が不足している	商店街に集客の核となる店舗がない、あるいは弱い	経営力の弱い店が多い	ある商店街の業種構成に不足がある	商店街活動が活発でない	空き店舗が増加している	集客力が低下している影響	スリッパ・大型店の影響	店舗の商店街加入率が低い	駐車場の不足	高齢化への対応が遅れている	外国人来街者への対応が遅れている	その他
杉並区全体	75	80.0	42.7	29.3	28.0	22.7	20.0	16.0	16.0	12.0	10.7	6.7	5.3	12.0
井草地域	4	100.0	75.0	-	50.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-
西荻窪地域	13	84.6	38.5	15.4	30.8	30.8	15.4	-	-	15.4	7.7	7.7	-	30.8
荻窪地域	14	50.0	21.4	28.6	42.9	35.7	21.4	35.7	21.4	-	14.3	14.3	-	14.3
阿佐谷地域	10	80.0	50.0	40.0	10.0	-	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	-	-
高円寺地域	16	81.3	31.3	31.3	18.8	18.8	12.5	12.5	6.3	31.3	6.3	-	18.8	12.5
高井戸地域	10	100.0	60.0	40.0	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	-	20.0	-	-	-
方南・和泉地域	8	87.5	62.5	37.5	50.0	25.0	37.5	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5
東京都全体	1,275	68.4	43.6	21.6	32.5	16.9	18.4	23.0	10.0	9.8	13.1	7.8	5.7	8.5
23区全体	961	69.6	44.1	21.9	32.5	17.6	17.7	22.5	11.7	9.7	12.5	6.9	6.5	8.5

※上位1位に濃い網掛け、上位2位に薄い網掛けをしている。

出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

(2) 後継者不足対策

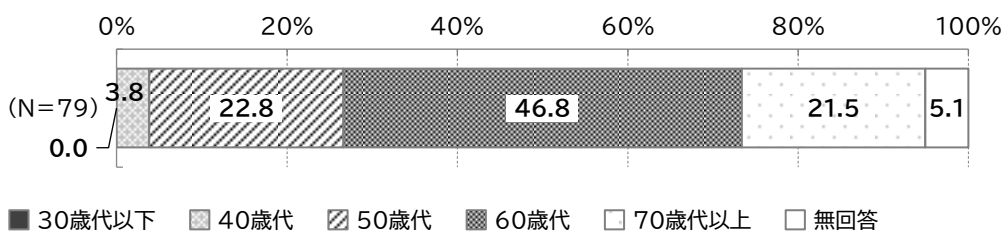
○商店会役員の高齢化と担い手不足が深刻化

①商店会役員の平均年齢と平均在職年数

商店会役員の平均年齢は「60歳代」が46.8%と最も高く、「70歳代以上」(21.5%)と合わせると68.3%であり、およそ3人に2人が60歳以上となっている。

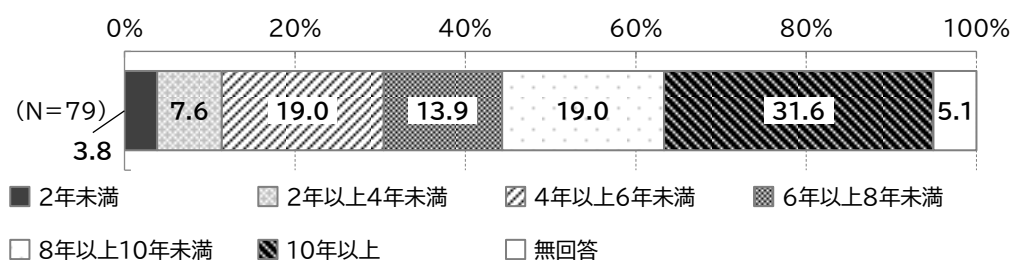
在職年数は「10年以上」が31.6%と最も高く、「8年以上10年未満」(19.0%)と合わせると50.6%であり、半数以上が8年以上在職している。

■ 図表 3-23 商店会役員の平均年齢 (SA)



出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

■ 図表 3-24 商店会役員の平均在職年数 (SA)



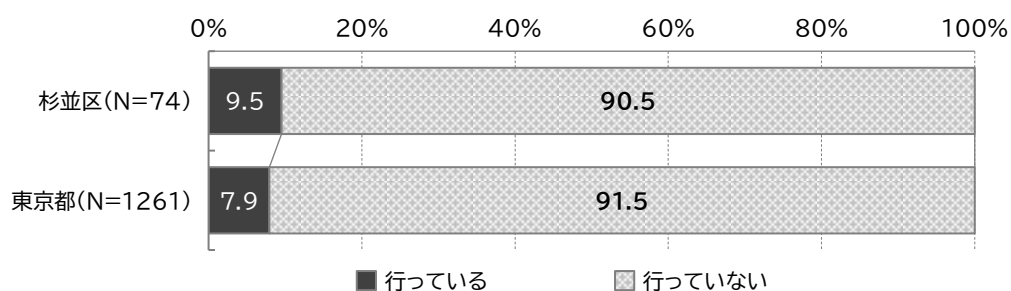
出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

②後継者不足対策の実施状況

後継者不足対策の実施状況は、「行っている」が9.5%となっており、東京都(7.9%)とほぼ同率であるものの、ほとんどの商店会が何も対策を講じていない。

「行っている」とした商店会の具体的な取組内容としては、「イベント活動等への人材の誘い込み」や「青年部の育成、活用」などがあげられる。

■ 図表 3-25 後継者不足対策の実施の有無 (SA)



出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

(3) 商店街の集客力について

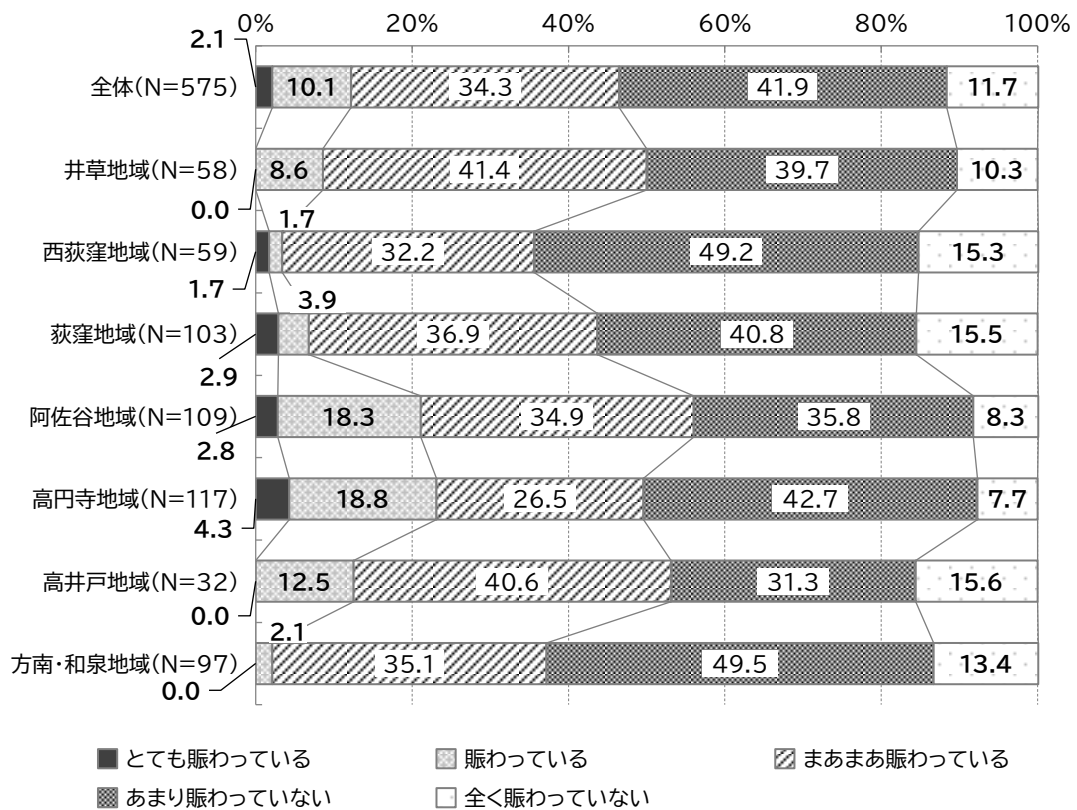
○商店街の景況は衰退気味で集客力も弱い

①現在の商店街の景況

店舗側からみた現在の商店街の景況は、「あまり賑わっていない」が41.9%と最も高く、「あまり賑わっていない」と「全く賑わっていない」を合わせると、53.6%となっている。

地域別に賑わっていない割合（「あまり賑わっていない」「全く賑わっていない」の合計）をみると、「西荻窪地域」（64.5%）と「方南・和泉地域」（62.9%）が6割台と高くなっている。

■ 図表 3-26 現在の商店街の景況 (SA)

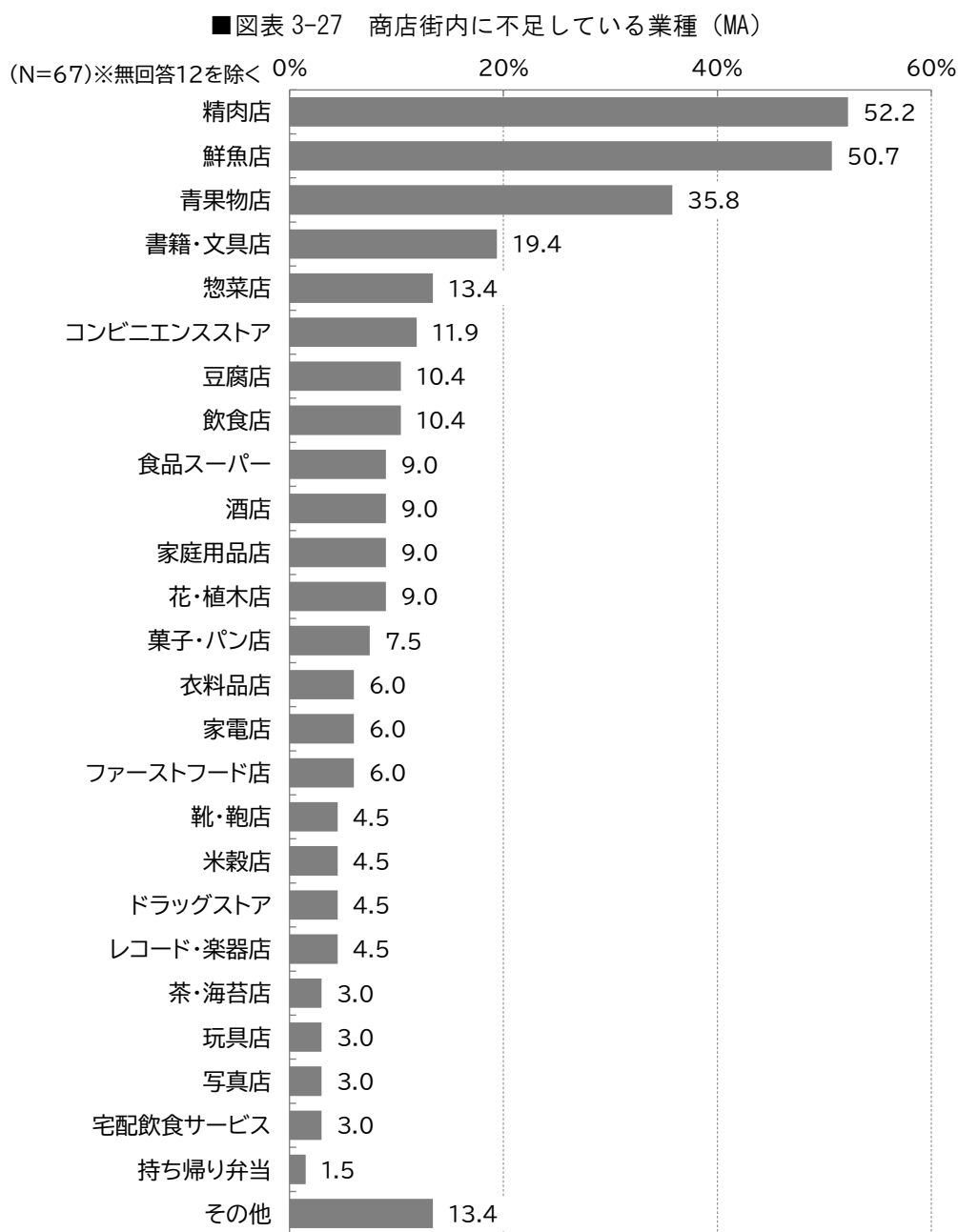


出典：「令和元年度 街の「にぎわい」に関するアンケート調査（杉並区）」

②商店街内に不足している業種

商店会が不足していると考えている業種は、「精肉店」が52.2%と最も高く、次いで「鮮魚店」が50.7%、「青果物店」が35.8%、「書籍・文具店」が19.4%となっており、生鮮食品販売店が上位となっている。

一方、区民が商店街を週に1回以上利用しない理由として「1カ所で買い物が済まない」(32.2%)が最も高いこと(図表2-47)や、商店街に望むものとして「商店街だけで買い物が済むような日用品の品揃え」(61.6%)が最も高いこと(図表2-51)を踏まえると、区民も商店街内の業種が十分でないと考えていることがわかる。

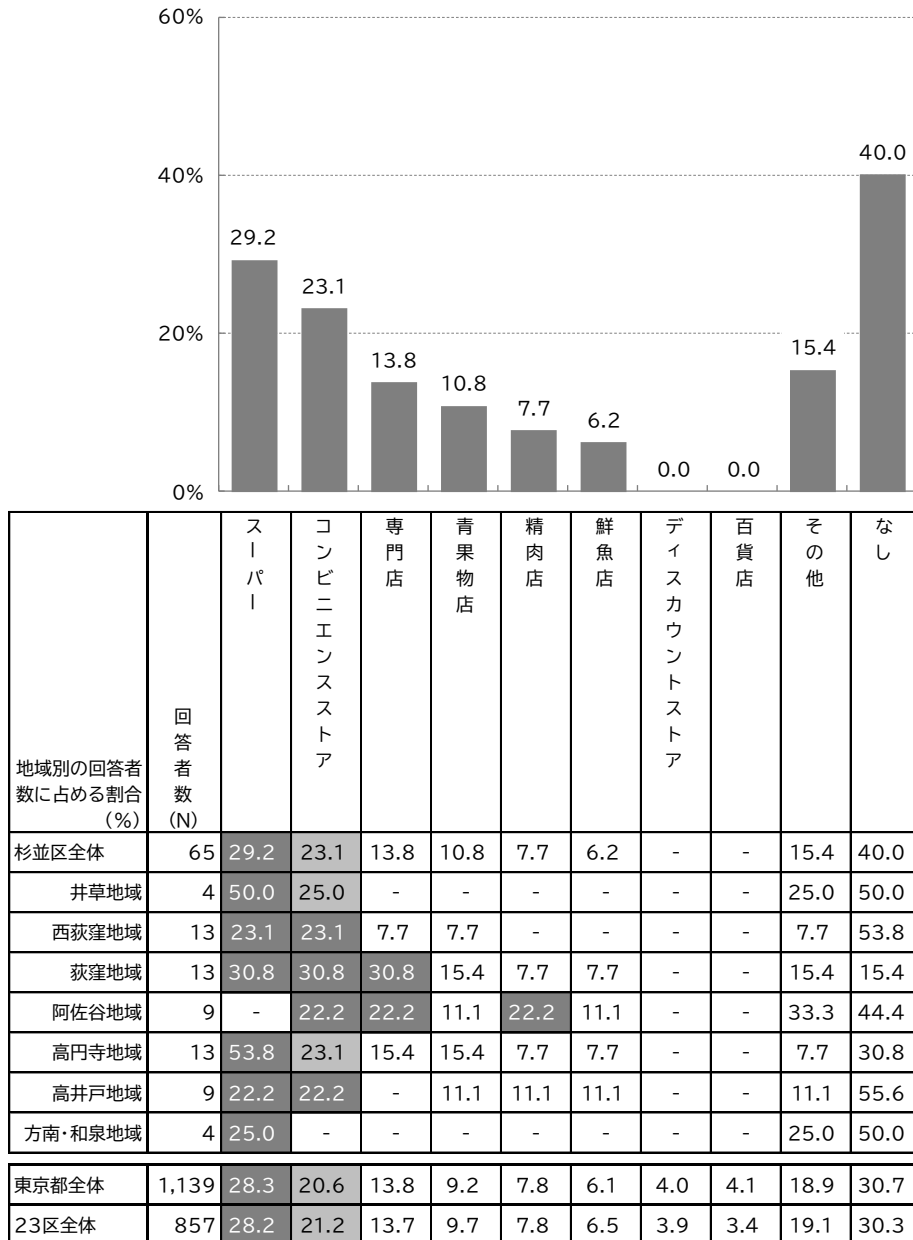


出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

③商店街の集客力に寄与している店舗

商店街の集客力に寄与していると考えられる店舗は、「スーパー」(29.2%)、「コンビニエンスストア」(23.1%)となっている一方で、集客に寄与している店舗は「なし」としている商店会が4割と最も高くなっている。特に「井草地域」「西荻窪地域」「高井戸地域」「方南・和泉地域」において半数以上が「なし」としており、東京都全体(30.7%)や23区全体(30.3%)と比べて20ポイント近く高い結果となっている。

■図表 3-28 商店街の集客力に寄与している店舗 (MA)



※上位1位に濃い網掛け、上位2位に薄い網掛けをしている。

出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

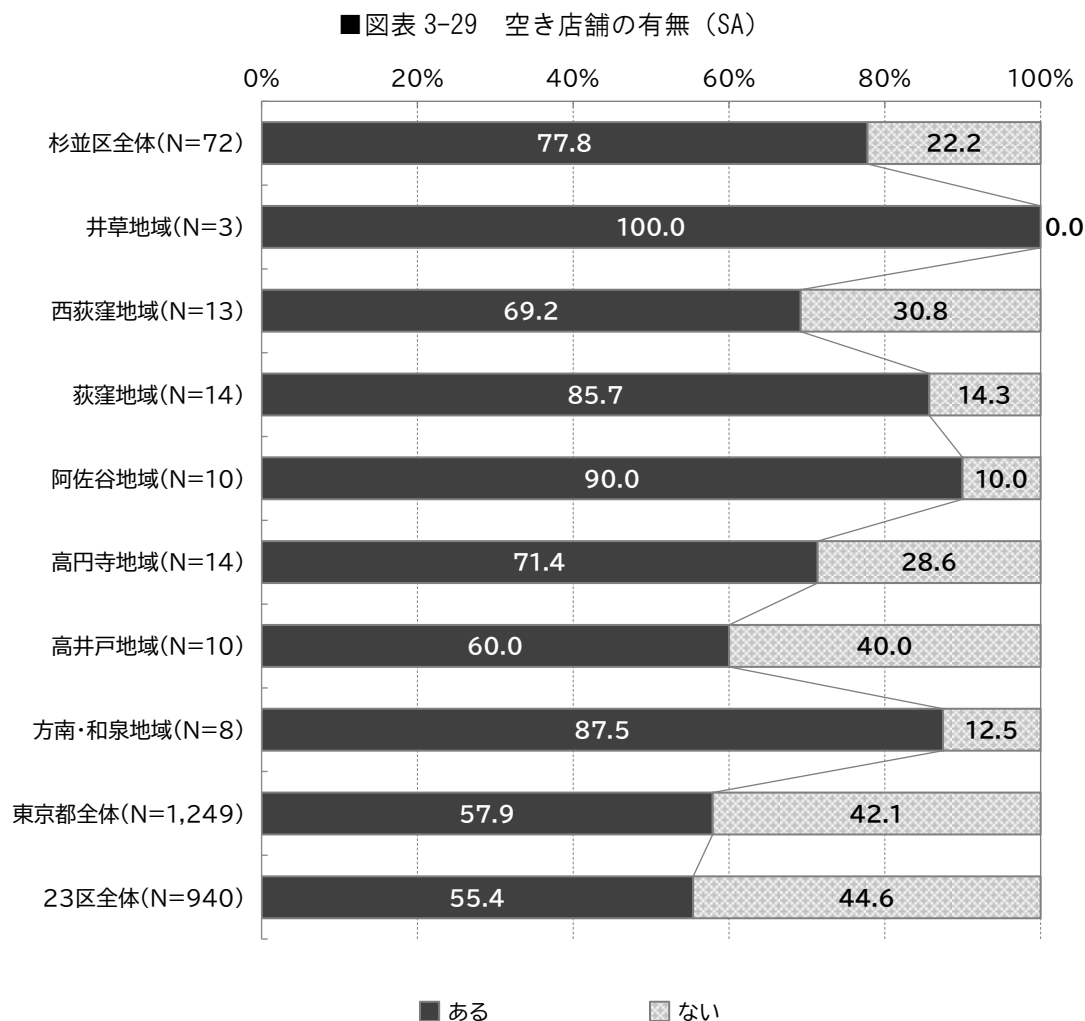
(4) 空き店舗の実態

○空き店舗がある商店街は7割以上で、空き店舗が埋まらない理由は家主、大家の事情や店舗の老朽化など多岐にわたる

① 空き店舗の有無

空き店舗がある商店街は77.8%で、23区全体(55.4%)と比べて高くなっている。

地域別にみると、空き店舗がある商店街の割合は、「井草地域」(100.0%)、「阿佐谷地域」(90.0%)、「方南・和泉地域」(87.5%)、「荻窪地域」(85.7%)で8割を超えている。

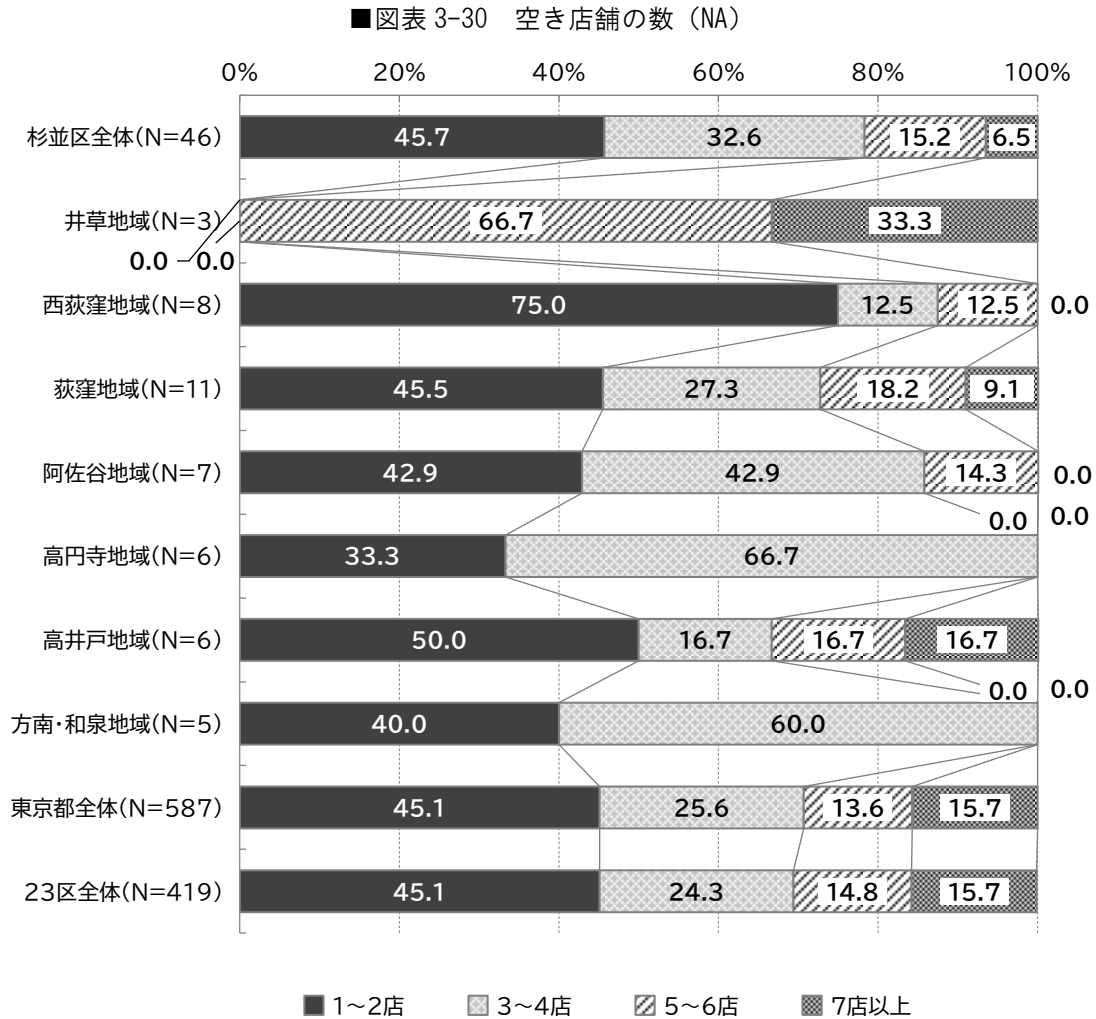


出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

②空き店舗の数

区内の商店街の空き店舗の数は「1～2店」が45.7%と最も高く、次いで「3～4店」が32.6%となっている。「7店以上」は6.5%であり、23区全体（15.7%）と比べて低くなっている。

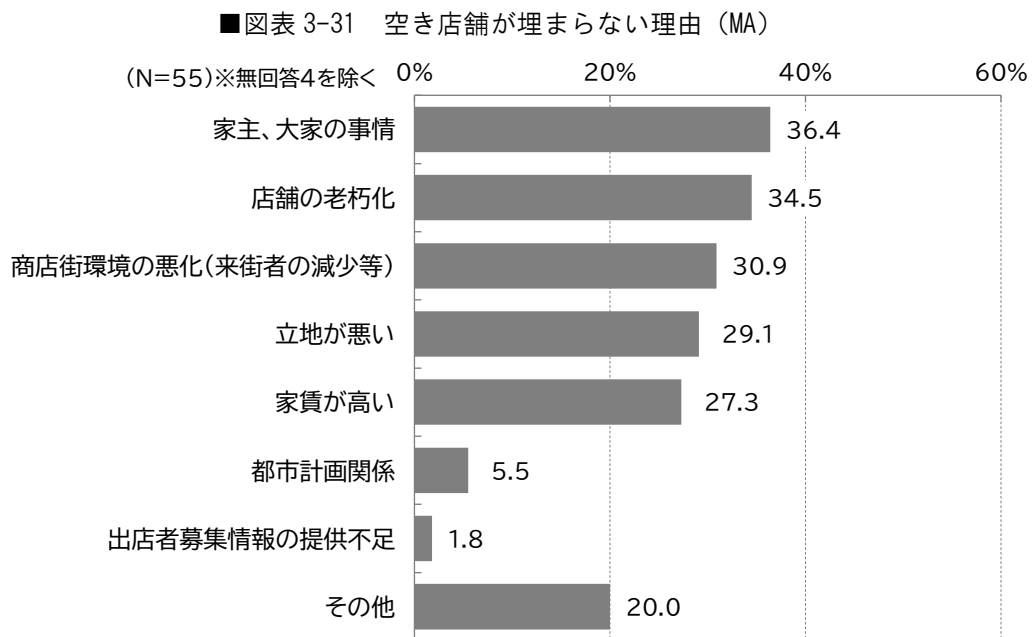
地域別にみると、空き店舗の数が『5店以上』（「5～6店」「7店以上」の合計）の割合は「井草地域」が100%、「荻窪地域」と「高井戸地域」が3割前後となっている。



出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

③空き店舗が埋まらない理由

空き店舗が埋まらない理由は、「家主、大家の事情」が36.4%と最も高く、次いで「店舗の老朽化」が34.5%、「商店街環境の悪化（来街者の減少等）」が30.9%となっている。



出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

4 商店街の取組について

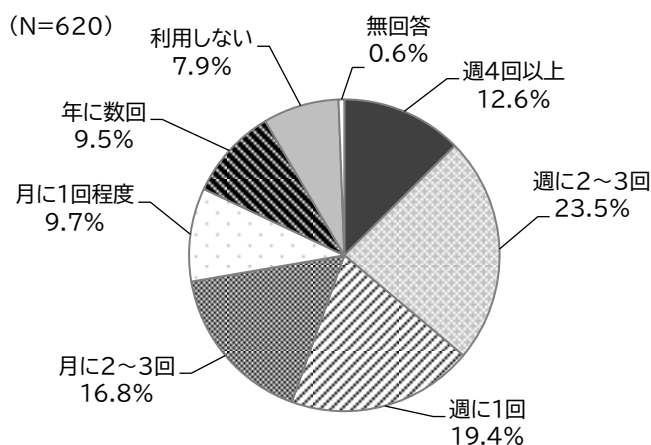
(1) 区民からみた商店街

○半数以上の区民が週に1回以上商店街を利用しており、賑わい・安全性・買物利便性の点で商店街を必要としている

区内の商店街の利用頻度は、「週に2～3回」が23.5%と最も高く、次いで「週に1回」が19.4%、「月に2～3回」が16.8%であり、週に1回以上（「週4回以上」「週に2～3回」「週に1回」の合計）利用している区民は55.5%と半数を超えている。

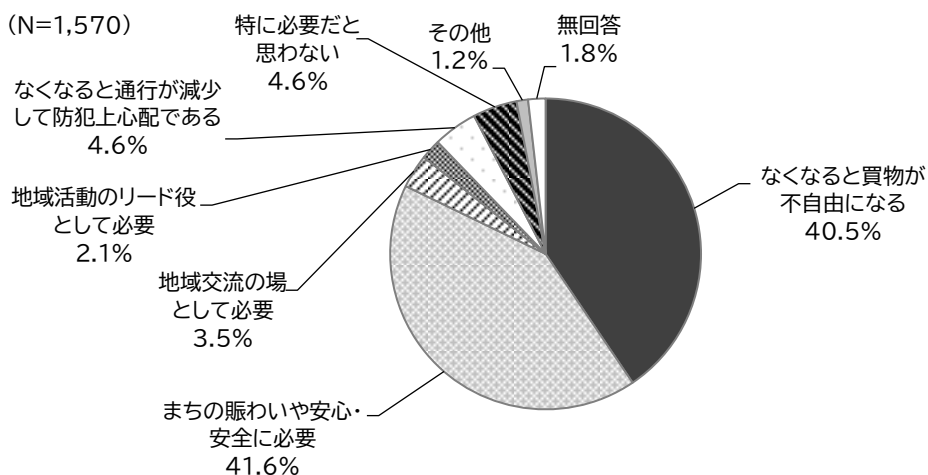
杉並区区民意向調査によると、商店街が必要な理由としては、「まちの賑わいや安心・安全に必要」(41.6%)と「なくなると買物が不自由になる」(40.5%)が4割台で、この2項目が特に高くなっている。

■図表 3-32 商店街の利用頻度 (SA)



出典：「令和2年度 杉並区産業実態調査（区民意向調査）」

■図表 3-33 商店街が必要な理由 (SA)



出典：「第52回杉並区区民意向調査」

(2) 商店街が実施・検討している事業

○約7割の商店会がイベント事業を実施している一方、新たな事業を検討している商店会は非常に少ない

杉並区の商店街が実施している事業をみると、「イベント事業（期間を定めて行う事業）」が73.5%と最も高く、次いで「ホームページの利用」が57.1%、「共同宣伝」が44.9%、「防犯・防災活動（施設整備を除く）」が38.8%、「商店街共通商品券」が34.7%となっている。

また、商店街が実施を検討している事業をみると、いずれも10%※を下回っており、東京都全体と比べて少なくなっている。

※各事業をまとめた項目の割合は除く。

■ 図表 3-35 商店街が実施・検討している事業 (MA)

	実施している事業		検討している事業	
	杉並区全体	東京都全体	杉並区全体	東京都全体
回答者数に占める割合(%)				
回答者数(N)	49	953	49	264
イベント事業(期間を定めて行う事業)	73.5	62.5	2.0	15.5
販売促進活動(計)	67.3	59.9	16.3	45.1
共同宣伝	44.9	33.4	4.1	23.1
音楽、芸術、文化活動	14.3	10.3	6.1	21.2
商店街共通商品券	34.7	30.6	2.0	12.1
スタンプ・ポイントカードの発行	10.2	14.5	6.1	20.8
100円商店街	0.0	0.8	8.2	16.3
その他販売促進活動	10.2	8.1	2.0	14.0
エコ推進活動(計)	36.7	40.0	12.2	34.8
ゴミの減量推進	12.2	11.5	8.2	21.2
リサイクル推進	12.2	11.5	6.1	17.8
省エネルギー推進	10.2	7.5	6.1	17.0
環境美化	22.4	25.2	4.1	20.5
緑化	14.3	11.1	8.2	17.0
その他エコ推進活動	6.1	2.8	6.1	14.8
キャラクター事業(計)	14.3	15.8	6.1	20.8
マスコット・キャラクター	8.2	9.2	4.1	17.0
着ぐるみ	4.1	7.3	2.0	13.6
キャラクターフラッグ	8.2	6.2	4.1	15.2
その他キャラクター事業	2.0	1.5	2.0	14.0
地域ブランド(計)	16.3	15.8	8.2	38.6
商店街の愛称・シンボルマーク開発	14.3	13.1	2.0	23.9
商店街の名物開発	4.1	2.9	6.1	26.5
その他地域ブランド開発事業	0.0	1.3	6.1	20.1
買い物支援(計)	4.1	4.8	4.1	24.6
商品の宅配、買物代行	2.0	4.2	4.1	22.0
御用聞き	0.0	1.0	4.1	18.9
その他買い物支援	2.0	0.5	4.1	16.3
IT利用の推進(計)	59.2	41.7	6.1	40.5
ホームページの利用	57.1	36.0	0.0	21.2
SNS(ツイッター、Facebook等)の利用	20.4	15.0	2.0	19.3
インターネットを利用した会員間の情報共有	16.3	8.2	2.0	23.1
その他IT利用の推進	6.1	1.9	2.0	20.1
地域貢献(計)	63.3	54.2	6.1	34.5
地域の清掃活動	14.3	29.4	4.1	14.8
高齢者向けサービス	6.1	4.1	4.1	20.8
子育て支援サービス	4.1	4.1	4.1	18.6
花いっぱい運動	16.3	12.0	6.1	17.4
防犯・防災活動(施設整備を除く)	38.8	34.6	2.0	16.3
その他地域貢献活動	16.3	8.1	2.0	11.0
その他のソフト事業	0.0	1.6	4.1	14.0

出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

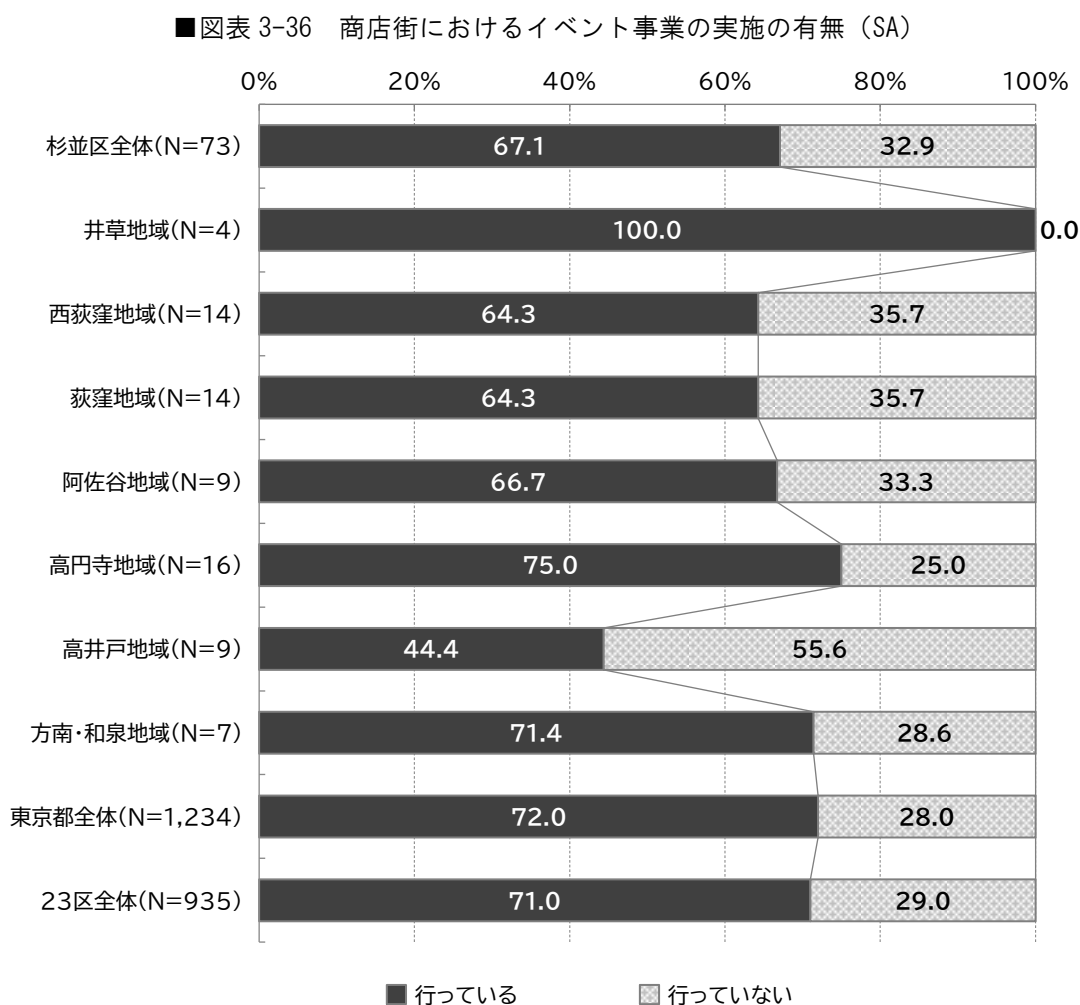
(3) イベント事業

○イベントの主な内容は売り出し・お祭りが半数以上と多い

①商店街におけるイベント事業の実施の有無

商店街におけるイベント事業の実施の有無は、「行っている」が67.1%、「行っていない」が32.9%となっており、イベント事業を「行っている」割合は、東京都全体（72.0%）や23区全体（71.0%）と比べて低くなっている。

地域別にみると、イベント事業を「行っている」割合は、「井草地域」が100.0%と最も高く、次いで「高円寺地域」の75.0%、最も低いのは「高井戸地域」の44.4%となっている。



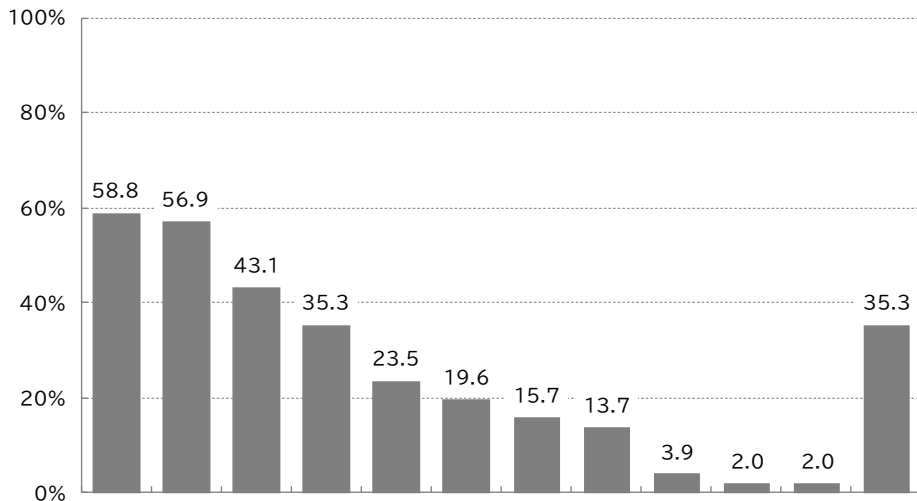
出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

②商店街におけるイベントの主な内容

杉並区の商店街におけるイベントの主な内容は、「売り出し（セール等）」が58.8%と最も高く、次いで「お祭り」が56.9%、「装飾（イルミネーション・ライトアップ等）」が43.1%となっている。東京都全体と比べ、「売り出し」や「装飾」が10ポイント以上高い。

地域別に「売り出し（セール等）」の割合をみると、「方南・和泉地域」が100.0%と最も高く、次いで「井草地域」と「高円寺地域」が75.0%となっている。

■図表 3-37 商店街におけるイベントの主な内容（MA）



地域別の回答者数に占める割合 (%)	回答者数 (N)	売り出し（セール等）	お祭り	装飾（イルミネーション・ライトアップ等）	抽選会	音楽、芸術、文化活動	市（模擬店、フリーマーケット、朝市等）	スタンプラリー	商店街商品券の発行	の発行	街バル	まちゼミ	その他
杉並区全体	51	58.8	56.9	43.1	35.3	23.5	19.6	15.7	13.7	3.9	2.0	2.0	35.3
井草地域	4	75.0	75.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0
西荻窪地域	9	44.4	55.6	55.6	22.2	-	11.1	33.3	-	-	-	-	33.3
荻窪地域	9	55.6	55.6	55.6	55.6	22.2	11.1	22.2	22.2	-	-	-	33.3
阿佐谷地域	7	28.6	71.4	71.4	42.9	57.1	42.9	14.3	14.3	-	-	-	-
高円寺地域	12	75.0	25.0	33.3	33.3	25.0	16.7	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	66.7
高井戸地域	5	40.0	80.0	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	40.0
方南・和泉地域	5	100.0	80.0	20.0	40.0	20.0	40.0	-	40.0	-	-	-	20.0
東京都全体	929	40.9	52.0	26.9	37.0	14.9	15.3	14.1	16.6	8.5	5.0	5.7	25.0

※上位1位に濃い網掛け、上位2位に薄い網掛けをしている。

出典：「令和元年度 東京都商店街実態調査」

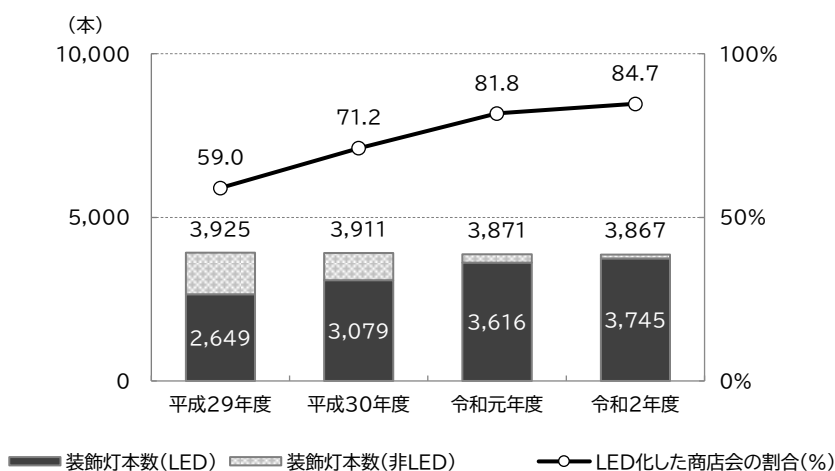
(4) 商店街装飾灯・防犯カメラの設置状況

○安全・安心に買い物ができる商店街環境の整備が進んでいる

商店街装飾灯は、約9割の商店会で設置しており、令和2年度の設置数は3,867本となっている。全ての装飾灯のうち、96.8%のLED化が終了している。

防犯カメラの設置台数は、年々増加しており、令和2年度の既設置台数は630台となっている。設置している商店会の割合も平成29年度の34.3%から令和2年度には48.9%と増加しており、安全・安心に買い物ができる商店街環境の整備が進んでいる。

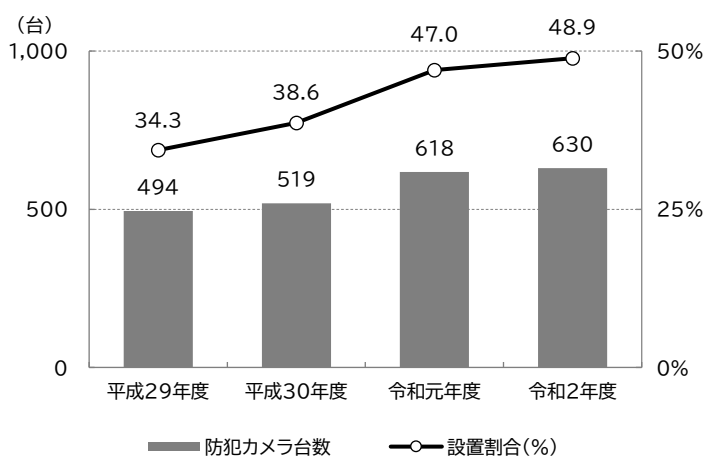
■図表 3-38 装飾灯設置状況



注) 上記棒グラフの上にある数値は「装飾灯本数」の合計である。

出典：「杉並区産業振興センター資料」

■図表 3-39 防犯カメラ設置状況



出典：「杉並区産業振興センター資料」